3. 『スイートフーズ久米島株式会社』の取組み

実施テーマ	おきなわ県久米島の紅芋を全国へ
地域名	久米島

(1)対象商品とその特徴

1)対象商品

焼き芋(2種類)



規格	300 g		
販売価格	464 円		
卸売価格	357 円		
沖夢紫をキュアリングし			
マ 次本古へ助子ンルマ			

沖夢紫をキュアリングして、冷蔵庫で熟成させて、 糖度 12℃以上になってから焼き上げます。

干し芋(8種類)



規格	60 g	
販売価格	386 円	
卸売価格	297 円	
熟成させた油華柴た 恭し		

熟成させた沖夢紫を、蒸して平切りにして、乾燥させました。

紅芋せんべい(2種類)



規格	30 g
販売価格	298 円
卸売価格	194 円
子事味のも	7)

沖夢紫のペーストにつなぎとしてタピオカ粉を15%、砂糖を5%加えて焼き上げました。

2) ブランド概要

同社は観光関連の菓子原料として使用される業務用の紅芋パウダーや紅芋ペーストを主力商品として製造。久米島では沖縄県内の紅芋全体の約50%が生産されており、商品に使用する紅芋は、契約農家およびASIAGAPの認定を受けた自社農場で生産された紅芋のみを使用している。新型コロナウイルスの感染拡大により、減少した売上に対応するため、沖縄県の奨励品種である沖夢紫で作った干し芋を製造。家庭で食べてもらえる商品を改良し販売することで、売上の安定化を図る。

3) ターゲットとする市場

- ・健康、美容、ダイエットに関心のある成人男女
- ・沖縄県内、久米島島内の小売店

(2)活動報告

- 1) 出展・商談
- ① 久米島町観光と物産フェア(沖縄県)
 - ・前年度及び本年度の対象商品について販売を通して市場調査
 - ・対象商品の PR と新たな販路開拓

成果と気付き

- ○久米島町観光と物産フェアは、2回目の出展(前年度の福岡大丸に続いて)となりました。今回は、関連会社である南西食品(株)の支援を得て商品数も焼き芋、干し紅芋(平切り)、干し紅芋スティック、紅芋せんべい、青果(沖夢紫)、紅芋モンブラン、紅芋パイ、紅芋ちんすこうの8種類となりました。
- ○今年度、追加した紅芋せんべいは、お客様の評価も良く、売れ行きも良好で、今後の販売 に期待が持てそうです。
- ○今回の出展では、沖縄県工業技術センターと共同研究により、紅芋ペーストに酵素を添加してデンプンの糖化を促進させた干し紅芋スティックも試験販売しました。お客様の評価も良く(甘く、柔らかく、味が良い)準備した商品が早々と完売になりました。
- ○今回の出展を通して、製造を担当するものであっても、対面販売を通して直接お客様の生 の声を聞き、商品の改良や開発に反映させることの重要性を認識しました。

<出展のようす>





- ② Meet & Feel;球美の島、久米島 2022 (沖縄県)
 - ・前年度及び本年度の対象商品について販売を通して市場調査
 - ・対象商品の PR と新たな販路開拓

成果と気付き

- ○今回の催事では 13 アイテムもの商品を扱いました。アイテム数の増加が集客につながった と考えています。
- ○沖縄タイムスにおける『久米島の観光と物産フェア』の客層が久米島関係者を中心とした ものであるのに対して、今回の催事は会場が国際通りに面していることもあって、観光客 を中心とした客層になりました。観光客に対しては沖縄=紅芋がかなり浸透していて「紅

芋ブランド」により、集客が増えたものだと考えています。

- ○各商品とも試食をさせて、商品の特徴などを説明し、試食後、お客様の意見を伺うことが 出来たのも良かったと思います。
- ○お客様のご意見としては、大方良い評価を頂き、本事業での商品改良に自信を得、また、 今後の商品の開発改良に大きな期待が持てるようになりました。
- ○今後の課題としては、販路の開拓と、商品の量産体制の確立が課題となりますが、販路開拓については、引き合いが増えており、成約に繋げてまいります。量産体制の確立については、まずは手作業による効率的な生産体制を築いたうえで、販売状況を踏まえて、設備投資を行い、機械化による生産体制の確立に取り組んで参ります。

<出展のようす>





- 2) 商品改良及びブランディング
 - ① 統一デザインでの商品ラベル作成、のぼり作成
 - ・追加した対象商品のラベルデザインを作成する
 - ・販促活動で使用するのぼりを作成する(2種類)

成果と気付き

- ○本年度事業で追加した対象商品のラベルデザインを整えた。前年度事業で作成したテキスタイルを基本としつつ、ラベルを丸形にするなど可愛く仕上げることが出来た。
- ○前年度事業で作成したテキスタイルをベースとしたのぼりを作成。人目を惹くデザインに 仕上がった。

<商品ラベル>





<のぼり>



3)情報発信

- ① 自社ホームページの改良
 - ・弊社ホームページに農場紹介のページを設ける
 - ・通販サイトに商品追加・改良
 - ・通販サイトの送料込みを送料別に変更

成果と気付き

- ○前年度事業により開設した EC サイトの商品数が、17 商品と大幅に増えました。
- ○商品数が増えたことにより、サイトの魅力も増したものと考えています。今後は、お客様 の反応を見ながら、改良を重ね販売力の強化につなげて参ります。

<ホームページ>





